

オアシス通信



希望与えるメッセージ

羽鳥師招き新年合同聖会



「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。―それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ」(エレミヤ29・11)

一月十二日午後二時より、瀬戸サレム教会において新年合同聖会が開催されました。当教会からは二十三名の参加がありました。今年の講師は、ラジオ牧師であり、自由ヶ丘キリスト教会牧師である羽鳥頼和先生でした。エレミヤ書より、分かりやすく希望のメッセージを語ってくださいました。要旨は、以下の通り。

笑いは否定的な状況から希望の状況へと変えてくれる可能性をもたらしてくれる。井上ひさしは、希望としての笑いを提案している。彼の最初の作は、「ひよっこりひよったん鳥」。この作品の歌は、多く

の人に希望と勇気を与えてきた。エレミヤ29章11節の時代背景として、ユダの人々の罪と偶像崇拜の結果エルサレムの破壊が起こり、人々が捕囚となっていたことがあった。そのような中で、神はエレミヤを通して希望のメッセージを与えられ、悔い改めを促された。神が与えてくださる平安は、イエス様の十字架によって与えられる平安であって、この世の安心、安全とは異なる。また、イエス様の平安は、父なる神が共におられるという平安である。ある経済学者は、日本がや

り直しのできない国になっていると言っているが、主は私たちにやり直しをさせて下さる。今年は、主の年二〇一四年。主が計画を立て、支配しておられる二〇一四年である。(牧師)

祝福の赤ちゃん

昨年十二月十六日に菅原淑実姉に第二子の女の子が誕生し、「みらい」ちゃんと名付けられました。

一月十八日に佐藤つばさ姉に女の子が誕生し、「楓(かえで)」ちゃんと名付けられました。



霊的に健康な教会を目指す

美濃グレースチャーチ

美濃の伝道は大変難しいと言われて来ましたが、それでも神様が毎年信者を与えてくださったことに感謝しています。2014年は美濃グレースチャーチが開拓して5年目となります。

今年は教会が御言葉を通して霊的に成長できる年になるように聖書通読や聖書の学びを積極的に進めていこうとしています。また、地域伝道のためにシーズンごとに特別集会も企画していくところですが、何より信者が御言葉による成長を通して霊的に健康な教会を目指していくことに励んでいく年としたいと思います。(辛海雄)